

真・魅力通信



保幼こ小中一貫コーディネーター：奥村 崇志

令和5年度 袋井あやぐも学園保健委員会開催！！

～テーマ:温かい人間関係づくり～



11月14日(火)に袋井あやぐも学園保健委員会が開催されました。小中学校の保護者にも参加していただき「幼小中一貫教育の概要」や「健康の日の取組」について話を聞いた後、小グループに分かれて「**温かい人間関係づくり**」について協議しました。



分科会（「つながるシート」を用いて）

親同士が話し合いをする時に使うワークシート「つながるシート」を活用して袋井市社会教育指導員、家庭教育支援員の方々が各分科会に入り、会を進行していただきました。このシートは、子育てや家庭教育について、親の悩みや不安の軽減に「つながる」、話し合いの中で、親同士が「つながる」、互いに学び合い、親として育ち合うことで子どもの健やかな成長に「つながる」ことを目的として県教育委員会が作成したものです。

【分科会】
やる気を引き出す魔法の言葉！

【本日のシート】

小学校5年生のハジメくんは算数が大好きでした。4年生の頃は、家庭で勉強をしなくても、テストもほぼ満点。授業でもどんどん発表していました。でも、5年生の「分科会の計画」の勉強になって、なんだか嫌気がさっていました。

お母さん：「お褒めに算数のテストを返したって悪いけど？」
ハジメくん：「えっ……」《もともとがんばりの癖からテストを引っぱり出す。》
お母さん：「あらっ、何なの、この態度は。」
ハジメくん：「ちょっと一生懸命勉強しなきゃだめじゃないの。」
ハジメくん：「うるさいなあ、ぼくだって、一生懸命やってるのに……」
お母さん：「あなたのがめ配だっているよ！」
ハジメくん：「……」

① ハジメくんはお母さんの言葉をどう受け止めてしまうのか、また、どんな言葉に答えたら、ハジメくんのやる気を引き出すことができそうですか。

言葉	ハジメくんの気持ち	言葉
「あらっ、何なの、この態度は。」		
「ちょっと一生懸命勉強しなきゃだめじゃないの。」		
お母さん：「あなたのがめ配だっているよ！」		
ハジメくん：「……」		

つながるシート

分科会1 ～やる気を引き出す魔法の言葉！～

＜子どものやる気を引き出すために、家庭で実践していること＞

- ・（頭をなでながら）ほめる。
- ・おかしなことを言って楽しい雰囲気にしてから、本題に入る。
- ・「だめ」などマイナスな言葉を使わないようにしている。



分科会2 ～子どものほめ方、しかり方～

＜子どもに接していくときに気を付けたいこと＞

- ・子どもにも一人の人格を持った人間として接する。
- ・目を見てにっこりして話を聞く。
- ・親に余裕がないときに怒ってしまいがちなので、気を付けたい。



分科会3 ～聞いて 聞いて！～

＜子どもの話に耳を傾けるときに心掛けていること＞

- ・子どもの話には手を止めて話を聴くように心掛けている。どうしても今やらなければいけないことがあるときは、理由を説明して、後できちんと話を聞くようにしている。



保護者の感想

友野先生の話がとてもよかったです。自分の子育てに不安がありましたが、今日の話がとても参考になりました。この時期に聞くことができよかったです。

日頃、自分の中でもややもやしていることがテーマでした。今日聞いたことを実践していきたいと思います。

分科会では、学校や子どもの年齢もばらばらだったので、参考になることが多かったです。友野先生の講話を聞いて、改めて、今しかない子どもとの貴重な時間をもっと大切にしたいと感じました。

様々な学年のお子さんを育てているグループだったので、それぞれの「今」を知ることができました。中学生のお母さんの話も聞いて、今後こういうことが待っているんだということも知ることができて良かったです。

＜次号では、スクールカウンセラー友野氏の話を紹介します。＞

※ 袋井あやぐも学園のあゆみは、「ホームページ 学園情報」を御覧ください。

